

京都府農山漁村伝承技能登録

令和元年度の丹後地域の農山漁村伝承技能登録者に下記の4名の方が登録されました。

今後のご活躍を期待いたします。

<京都府農山漁村伝承技能登録とは>

豊かな経験と技により保持されている農・林・水産業の生産、生活技能を広く公募し、登録基準により審査・認定する認証制度です。



氏名(敬称略)	登録技能名	技能分野
西川 栄 【宮津市】	味噌加工	農業
井之本 泰 【宮津市】	藤織り	林業
栗原 稔 【京丹後市】	炭焼き	林業
長谷川 洋二 【宮津市】	金樽イワシ漁(刺網漁業)	水産業

新任

～農業士のご紹介～

退任

どうぞよろしくお願いします。

【指導農業士】

坪倉 吉男さん(京丹後市網野町)



お世話になりました。

今後も地域農業の発展にご協力いただきますよう
よろしく願いいたします。

【指導農業士】

藤本 和久さん(京丹後市久美浜町)

【青年農業士】

大江 卓さん(与謝野町)

中谷 忠史さん(与謝野町)



丹後地域農業応援隊事業説明会

ご案内

丹後地域の農家の皆様向けに「京都府の支援事業」説明会を開催します。興味のある方はぜひおこしください。

日時:令和2年3月11日(水) 13:30~15:00

会場:丹後農業研究所



受賞おめでとうございます

11月21日、公益社団法人大日本農会主催「農事功績者表彰式」が開催され、京丹後市久美浜町の株式会社エチエ農産の会長、越江雅夫氏が農事功労者 緑白綬有功章を受章されました。

越江氏は、安心・安全な農作物づくりのため、土づくりや肥培管理を工夫されて、環境保全型農業を率先して実践されてきました。



※この広報誌は再生紙を使用しています。

～築いていこう! 男女共同参画～



TANGO

丹後普及センターだより

第31号

(令和2年2月発行)

〒627-8570

京都府京丹後市峰山町丹波855

京都府丹後広域振興局農林商工部

丹後農業改良普及センター

電話0772-62-4308

FAX0772-62-5894

丹後普及センター 🔍 検索



加工業務用キャベツ生産振興

近年、カット野菜の需要が増える中、平成28年度から丹後国営開発農地を中心に本格的に加工業務用キャベツの契約栽培に取り組んでいます。(2019年度 延べ約35ha)

契約栽培は価格変動に影響されず、また大型コンテナで出荷するため収穫・出荷作業の省力化が図れることから、若い就農者の経営の柱として導入されています。

これからの農業は、「作ったモノを売る」から「必要とされるモノを作る」時代にシフトしつつあり、当普及センターでは、加工業者の要望に応えるため、生産者部会とともに試験栽培を重ね、出荷時期を当初の秋どりから冬どり、初夏どりと拡大してきました。



現地講習会の様子



出荷目合わせの様子

～知ろう、守ろう、考えよう、みんなの人権～

全国で実証中です

「スマート農業って、役に立つの？」

最近、よく耳にする「スマート農業」という言葉。

農林水産省では、「**ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業**」と定義しています。

その最新技術の実証と経営評価のため、令和元年度から全国各地で取り組まれている「スマート農業実証プロジェクト」の実演会3カ所に参加しましたので、その内容を紹介します。

京都

「中山間地域水稲栽培におけるスマート農業技術・機械の一貫体系の導入による作業支援と省力・増収・高品質化の実証」((農)ほづ)

課題: 少子高齢化による農業従事者の減少、経営体の農地面積増加による労働力不足を解決したい。

目標: 水稲の反収増加、品質向上、労働時間の減少を目指す。

概要: 6月11日、京都府亀岡市にて。参加者100名超。田植え機やドローンなどの実演。

- ① 直進キープ田植え機(クボタ NW6S-F-GS)6条植え、330万円～。
- ② 防除用ドローン(クボタ MG-1SAK)約200万円。
- ③ 自動給水システム(セキスイ 水まわりくん+エアダスバルブ)
- ④ 水田センサ(ベジタリア Paddy Watch)

感想: 直進キープ田植機は、外周・旋回操作は手動なので、直進キープ機能を生かすには、直線距離の長い水田が有利。自動給水システムは、スマートフォンなどを使い遠い場所にある水田の操作ができるのは便利。



京都府では、令和元年度から、省力化や生産性向上につながるスマート農業技術の普及に向けて、「スマート農林水産業実装チャレンジ事業」を創設しました。

詳細は丹後広域振興局 農林商工部 企画調整室 農業振興担当(0772-62-4305)または丹後農業改良普及センター(0772-62-4308)までお問い合わせください。

～ 守りましょう! 農業の適正使用であなただの農業 ～

広島

「中山間水田複合作における省力化と新しい品種、販路等へ挑戦するスマート農業技術活用体系の実証」((農)ファーム・おだ)

課題: 地権者の高齢化で、集落の畦畔管理が困難(営農は集落営農組織が対応)。実需ニーズや差別化できる米づくりが必要。

目標: 1日の草刈り面積を2倍にし、米の売上額を10%増やしたい。

概要: 8月22日、広島県東広島市にて。参加者約170名。傾斜度40度の畦畔にて、リモコン自走式草刈り機5種の刈り比べ実演。

- ① アテックス 神刈RJ700:333万円
- ② ササキコーポレーション スマモ:135万円～
- ③ 三陽機器 AJK600:150万円
- ④ クボタ ARC-500:約100万円
- ⑤ 農研機構 小型草刈りロボット(試作機)
:傾斜地対応の吊り下げ型。開発中。



感想: いずれの機種も、自動で勝手に草刈りしてくれるのではなく、前進・反転などのリモコン操作する作業員が必ず必要。メーカー曰く、導入予定地での実演必須。

番外編

こんなものもあります 自分で動くロボット草刈り機



概要: 12月12日、京丹後市の果樹園(ナシ)にて。参加者20名。

●ハスクバーナ オートモア330X: 本体50万円+施工費
ワイヤで囲った中を、24時間自動でランダム走行して雑草の草丈を一定の高さで維持する。境界ワイヤ・障害物があると方向転換。自動で充電ステーションに戻る。

石川

「大規模水稲経営における農業ブルドーザとドローンを活用したスマート農業技術体系の実証」((農)夢耕坊)

課題: 農業法人3つが合併し、さらなる営農面積の拡大や経営基盤強化が必要。ほ場の均平作業や防除作業の受託もしていきたい。

目標: 労働時間10%以上削減、収量5%増収。

概要: 11月28日、石川県白山市にて。参加者15名。代かき実演(田植機を省略したV溝 乾田直播栽培)、空撮ドローンの試験結果報告。

●農業ブルドーザ(コマツ D21PL-8): 本体900万円+ICT対応はプラス1000万円、レンタルあり。

感想: 農業ブルドーザは高価。空撮ドローンのデータ処理ソフトの早期実用化に期待。



～ 環境にやさしい農業は土づくりから～